

■粒子線がん治療検討WGについて

1. 目的

大手前地区に整備する予定の重粒子線がん治療施設を、より効率的・効果的に活用していくため、人材の育成、派遣、研修の枠組みを検討するほか、府内医療機関との連携方策などについて意見交換を行う。

そのため、大阪府がん対策推進委員会がん診療拠点病院部会附属のワーキンググループとして、本WGを設置する。

2. 構成員（順不同）

小川 和彦	大阪大学医学系研究科 放射線治療学 教授
三木 幸雄	大阪市立大学大学院医学研究科 放射線医学教室 教授
西村 恭昌	近畿大学医学部放射線医学教室 放射線腫瘍学部門 教授
谷川 昇	関西医科大学 放射線科学講座 教授
鳴海 善文	大阪医科大学 放射線医学教室 教授
村上 健	放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 国際重粒子医科学研究プログラム プログラムリーダー
亀井 了	兵庫県立粒子線医療センター 事務部長
西山 謹司	大阪府立成人病センター 副院長
未 定	事業者（決定次第）

3. 検討項目

【枠組み検討】

- ・人材確保、育成の方策

大学医学部等からの人材派遣や他の粒子線施設も含めた研修などの体制の検討

【意見交換】

- ・府内医療機関との連携方策

大学病院、がん診療連携拠点病院を中心とした連携方策について

- ・粒子線治療、施設の情報提供

関係機関、民間企業なども含めたPRの方策

4. スケジュール（案）

25年8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月
第一回					第二回		第三回